

健康福祉科学科 熊野宏昭研究室

教員紹介



熊野 宏昭 教授 *Hiroaki KUMANO*

経歴 1985年に東京大学医学部卒。1995年に東京大学博士（医学）取得。東京大学心療内科医員、東北大学大学院医学系研究科人間行動学分野助手、東京大学大学院医学系研究科ストレス防御・心身医学（東京大学心療内科）助教授・准教授を経て、2009年4月から早稲田大学人間科学学術院教授、同11月に新規設立された早稲田大学応用脳科学研究所所長に着任。

研究テーマ 精神医療と身体医療の双方に臨床心理学を適用し、マインドフルネスやアクセプタンスを含む「新世代の認知行動療法」によって、短期間で大きな治療効果を上げることを目指した研究を行う。

現実を等身大に感じ取り、自分で考え行動のできる個の力を育てつつ、研究や臨床の楽しさをふんだんに味わえるようにしていきます。

研究テーマ



心と脳の双方向性 行動変容技法と前頭葉機能訓練の相乗効果が生まれるメカニズムを検討

MCTの基礎研究 注意機能やメタ認知的信念と今この瞬間への距離を置いた気づきとの関りを検討

ACTの基礎研究 言葉が持つ力と体験の回避が日常生活での行動や心身の健康に及ぼす影響を検討

学生は3つのグループのいずれかに所属して活動

3年生の1年間

春学期

ゼミの内容 臨床行動分析・脳と心理の関係・心理統計学などを、3年生同士で発表し合って勉強します。

夏合宿(9月頃) 先輩たちの研究を聞いたり、相談会を開いたりしながら、3年生の卒論構想をスタートさせます。

秋学期

ゼミの内容 卒論の手順を練習するために、3つのグループに分かれて研究を行います。最後には発表をします。

春合宿(2月頃) 先生や先輩たちの意見を聞きながら3年生の卒論構想と構築を行っていきます。

熊野研究室で出来ること

充実した指導が受けられる 熊野教授と富田講師、そして優しく優秀な先輩が大勢います。気軽に質の高い研究相談ができるのが特徴です。

貴重な経験ができる 3年生は、精神科病院の見学ができたり、心療内科クリニックの診察を陪席できたりします。非常に貴重な経験です。

自分のやりたい研究ができる 熊野研は研究の幅がとっても広いのが特徴です。そのため、自分の興味のある分野の研究ができます。

ホームページ

[kumanolab.com](https://www.kumanolab.com/)



熊野研究室で行われている研究内容の紹介や、実験協力者の募集を掲載しています。

<https://www.kumanolab.com/>



QR code